

この度は、ROOKER CCTV レンズをお買い上げいただきありがとうございます。
正しくご使用いただくために、かならずこの取扱説明書をお読みにになり、末永くご愛用いただけますようお願い申し上げます。

レンズマウントについて

ROOKER CCTV レンズの採用しているマウントはCSマウントとなります。ご使用のカメラのマウントをご確認ください。

レンズの取付について

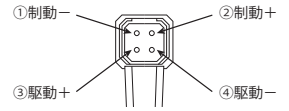
レンズを時計方向へねじ込み、カメラに取付けます。このレンズにはスリップ機能が付いていますので、レンズを完全にねじ込んだ後でも、さらに時計方向へ空転させてレンズを正しい位置へ向けることが可能です。レンズ取付後、DCプラグをカメラ側のコネクタに接続してください。
レンズをカメラから外す際には、DCプラグを外してから反時計方向へ回してください。

配線

接続される映像機器（防犯カメラ、レンズコントローラ等）の取扱説明書を十分にご確認の上、下記に従ってご使用ください。

角4Pコネクタ (JEITA準拠)	①制動(-)	②制動(+)	③駆動(+)	④駆動(-)
※駆動(+)に正電圧を加えたとき、アイリスが開く方向に動作します。				

レンズコネクタ配線図



アイリスについて

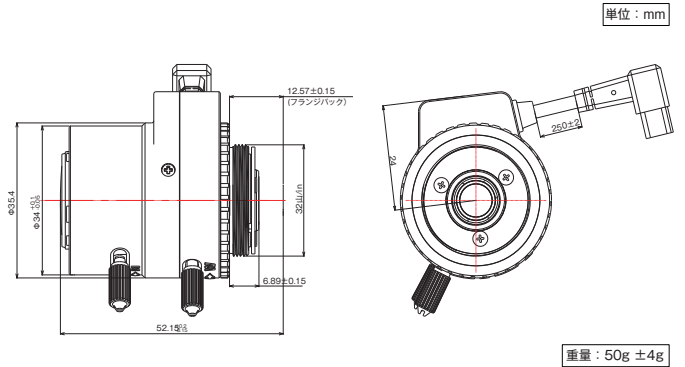
ご使用のカメラのオートアイリス機能にDC/VIDEOの切り換えがある場合は、DC側を選択してください。

長くご使用いただくために

- ①レンズ面についたゴミや汚れは、ブローアで吹き飛ばすか柔らかい刷毛で取り除く程度にし、直接指で触れないようにしてください。
- ②レンズ面に指紋や油がついた場合は、市販のレンズクリーニングペーパーや良く洗った木綿の布に、レンズクリーニング液を染み込ませて、レンズ面の中心部から外側へ向かって円を描くように拭き取ってください。レンズボディ部はシリコンクロスなどで拭いてください。ベンジンやシンナーなどの有機溶剤の使用は絶対に避けてください。

製品仕様

適合センサーサイズ (インチ)	1/2.7, 1/2.8, 1/2.9, 1/3		
焦点距離	2.7 ~ 13.5mm (5 ×)		
解像度	629万画素 (中心部分)		
絞り範囲	F1.6 ~ T360 (F360相当)		
操作方法	ズーム	手動	
	フォーカス	手動 (最短撮影距離 0.2m)	
	アイリス	自動 (DCタイプ) (※1)	
画角 (H × V)	1/2.7" (16:9)	WIDE	H: 113.54° / V: 59.3°
		TELE	H: 31.68° / V: 17.82°
	1/2.8" (16:9)	WIDE	H: 108.78° / V: 57.22°
		TELE	H: 30.62° / V: 17.22°
	1/2.9" (16:9)	WIDE	H: 104.2° / V: 55.44°
		TELE	H: 29.56° / V: 16.72°
1/3" (4:3)	WIDE	H: 91.16° / V: 66.32°	
	TELE	H: 26.4° / V: 19.8°	
マウント	CS		
アイリスコイル抵抗	Driving Coil	190 Ω ± 10% / 20°C	
	Damping Coil	465 Ω ± 10% / 20°C	
駆動電圧	クローズ→オープン: 3.5V以下, オープン→クローズ: 0.5V以上		



単位: mm

重量: 50g ± 4g

ROOKER CCTVレンズを安全にお使いいただくために

安全のため、ご使用前に必ずこの「ROOKER CCTVレンズを安全にお使いいただくために」をお読みください。
また、お読みになった後はいつでも必要な時に取り出せるよう、所定の場所へ大切に保管してください。
この説明書では、次のような絵表示を使用しています。

⚠	⚠は感電注意を表します。	⚠	⚠は発火注意を表します。	⊘	⊘は禁止を表します。⊘は分解禁止です。	❗	❗は注意を表します。
---	--------------	---	--------------	---	---------------------	---	------------

この説明書では、危険をその内容・程度に応じて次の2種類に分けています。

⚠警告	この内容に従わないで誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
分解したり異物を入れないでください。ケースを開けて内部を分解したり、金属や燃えやすいものを入れしないでください。感電の原因となります。⚠⚠⚠	接続コードが傷んで芯線が露出したり断線した時は、お買い上げの販売店に連絡の上交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。⚠⚠⚠
水が入ったり、濡れたりしないようにしてください。万一内部に水が入った場合は、ただちにカメラの電源を抜いて使用を中止してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。⚠⚠⚠	改造をしないでください。火災・感電の原因となります。⚠⚠⚠
発火や引火の危険性がある場所に設置しないでください。ガスや粉塵などが充満した場所に設置すると、火災の原因となります。⚠⚠	異常な時は使わないでください。煙が出ている、変な臭いがする時は使わないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。⚠⚠⚠
接続コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、過熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。❗⚠⚠	レンズは乳幼児の手の届くところに置かないでください。落ちたり、割れたりして怪我をする恐れがあります。⊘
レンズで直接太陽を覗かないでください。失明の原因となります。⊘	

⚠注意	この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性があります。または、物的損害が発生する可能性があります。
極端に高温・または低温となるところに設置しないでください。60°C以上の高温になる場所や、-20°C以下の低温になる場所ではご使用にならないでください。画質の低下や、故障の原因となります。⊘	レンズを着脱する際には、レンズをしっかりと持ち、カメラへの取付方法に従って慎重に着脱してください。着脱中に落下する恐れがあります。❗
太陽や強烈な光に向けないようにしてください。カメラの映像素子が焼き付いて、撮影できなくなる恐れがあります。⊘	保管中のレンズは、日光が直接当たる場所に置かないでください。レンズによって近くの物に集光し、火災が発生する恐れがあります。⊘⚠
衝撃を与えないでください。ぶつけたり、落としたりすると、故障の原因になることがあります。●	湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。火災・感電の原因となる恐れがあります。⊘⚠⚠
接続コードを熱器具に近づけないようにしてください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となる恐れがあります。⊘⚠⚠	油煙や湯気が当たる場所に設置しないでください。調理台や加湿器のそばに設置しないでください。火災・感電の原因となる恐れがあります。⊘⚠⚠
濡れた手で接続コードのプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となる恐れがあります。⊘⚠	他の機器と接続する際は、必ず接続する機器の取扱説明書をお読みにになり、悪影響がないことを事前にご確認ください。❗